

編修趣意書

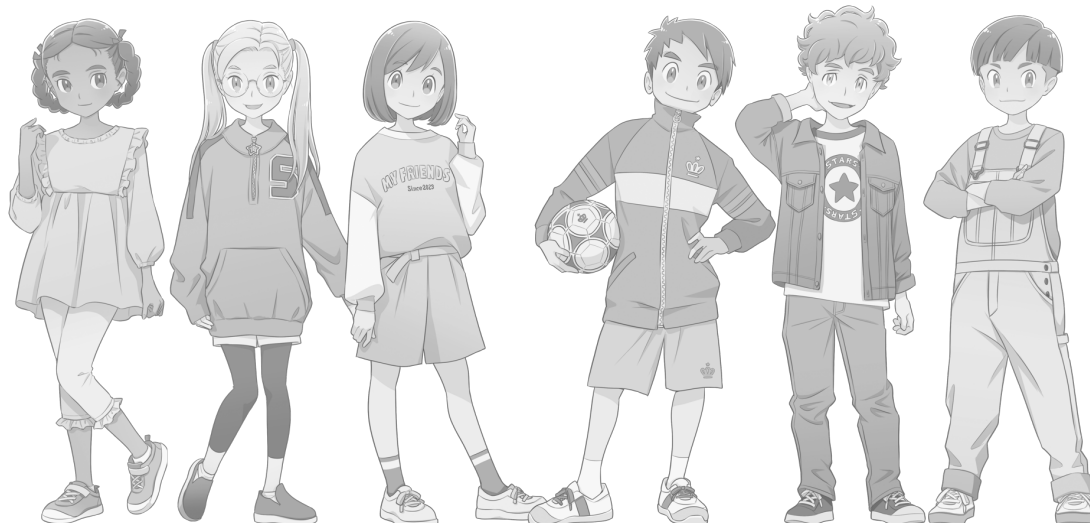
(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-175	小学校	外国語	英語	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英語 513 514	CROWN Jr. 5 CROWN Jr. My Dictionary		

1. 編集の基本方針

楽しい学び 豊かな心 確かな力

本教科書は教育基本法の理念に基づき、英語教育を通して、確かな学力、国際社会に対応できる資質・能力と、豊かな人間性を育成することを教育理念とし、次の4つの基本方針に基づいて編修しました。



1 学びに向かう力を育てる

学ぶことを楽しむ心を育み、主体的・協働的に学ぶ力を育成します。なぜ英語を学ぶのか、どのように学ぶのかを紙面に示し、児童の学ぶ意欲を引き出します。自ら目標を立て、協働的な活動を通して学び合いながら Goal を目指します。

2 ことばを使う力を育てる

ことばに気持ちに乗せられる活動を通して、基礎的な英語力を育成します。たっぷりのインプットと、児童が「英語で言いたくなる活動」をスモールステップで積み重ねて、楽しく活動しながら英語力を身につけることができます。

3 考える力を育てる

目的や場面、状況に応じて考えながらコミュニケーションを図る力を育てます。児童に身近な場面を設定し、目的や状況を意識して、自分で話す内容や構成を考えることで、思考力と確かなコミュニケーション力を育成し、自律的な学習者を育てます。

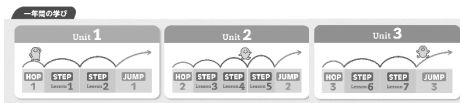
4 他とかかわろうとする心を育てる

児童の世界を広げる題材を通して、人や文化など、他とかかわろうとする心を育みます。これらの題材に触れ、広くことばや世界に関心を持ち、どんな言語であれ、相手がだれであれ、相手を意識しながらコミュニケーションしようとする心を育てます。

1 学びに向かう力を育てる

1 自ら立てた目標に向けて学習を積み重ね、スパイラルに学びを深めていく

- 本書は児童が楽しく英語を学んでいく中で、基礎的なコミュニケーション能力を養い、発達段階に応じた資質を身につけられることを目指しました。そのため1年間に3つの大きな言語活動の目標を設定しました。
- 児童が自ら立てた目標に向かって、グループ活動などを通して対話的・協働的に学び合いながら、Unitを重ねるごとに学びを深め、また学びをふりかえることで次の学びへと向かう態度を育み、自ら学力を育成できる「自律的な学習者」を育てる構成としました。



2 〈目標→見通し→ふりかえり〉のプロセスを大切に、主体的・協働的に学んでいく

- HOP**では、Unitの全体像を把握します。児童が「今の自分の力」を確認する活動をおこない、JUMPでどのようなことを言えるようになりたいか、自身の学びの見通しを立てます。
- STEP** (Lesson)では、場面を通して語句や表現に出会い、コミュニケーションを通してそれらを身につけます。Lesson全体のGoalに向かって、Partごとの小さなGoalを達成しながら力をつけていきます。
- JUMP**では、コミュニケーションの目的・場面・状況に応じて、それまでに学習した語句や表現から自分で話す内容を選び、思考力・判断力を働かせながら表現します。

Unitの構成

HOP で見通しを立てよう **STEP** で語句や表現を学んで、コミュニケーションしよう **JUMP** で発表しよう

思えばぐ

1 今の自分の力でできること、できないことを確かめよう。JUMPでどんなことを言いたいかわかれば、目標を立てよう。

出会う

1 絵を見ながら音声を聞いて、英語の単語や表現と出会う。
●単語や語句のチャンツ、先生や友だちとの短いしゃべりをしよう。

慣れ親しむ

●動画を見て話の内容をつかもう。
●語句や表現に慣れ親しもう。
●学習した表現で伝え合ったり、書いたりしよう。

伝え合う

●英語の文を読んだり、会話を聞いて、言えるようになったことを確認しよう。
●目的・場面・状況を考えながら、伝え合ったり書いたりしよう。

表現する

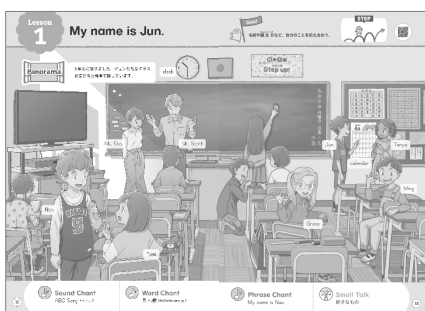
●これまでのLessonで学習したことを、目的・場面・状況を考え、表現しよう。
●LessonやJUMPの終わりで、学習をふりかえろう。

(Part 3までのLessonもあります)

2 ことばを使う力を育てる

1 児童にとって身近な日常生活の話題と、状況がわかりやすい場面設定

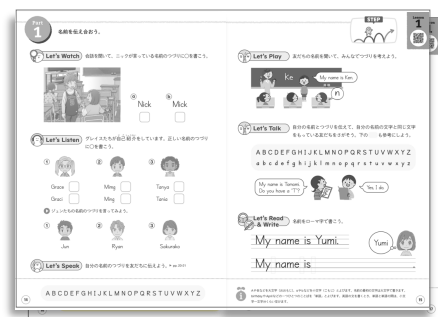
レッスンは一枚絵のパノラマで導入します。パノラマでは語句や表現が使われる場面や状況を示しました。児童にとって身近な場面を設定し、自分のこととしてとらえることで、児童の関心・意欲を高めます。



(pp. 12-13 レッソンの導入ページ [Panorama])

2 自分を投影できるメインキャラクターといっしょに、「やってみよう」と思える活動

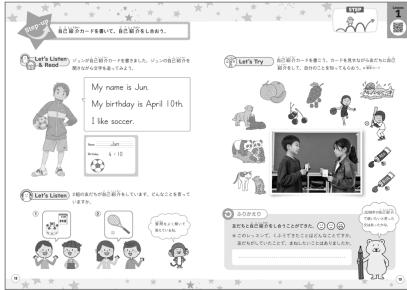
一般的な公立小学校を舞台に、外国人を含む児童や先生が登場します。自分自身を投影できるメインキャラクターが活動するのを見たり聞いたりして、児童が「自分もやってみよう」と思える活動を設定しました。



(pp. 14-15 活動は見開きで、1ページ1単位時間)

3 Goal と、Goal までに積み上げるステップが一目でわかる紙面

Unit 全体の Goal、レッスンの Goal、Part ごとの Goal をわかりやすく示しました。Unit の最後にどんなことができるようになるか、また、そこまでどんなステップを、どのように積み上げていくかが一目わかります。



(pp. 18-19 レッソンのまとめのページ [Step-up] では左上に Goal があります)

4 スモールステップで、無理なく文字に親しむ活動と、絵辞典 My Dictionary

「読むこと」と「書くこと」はスモールステップを踏んで、音と文字との関係に気づかせながら進めます。5・6年生を通して使える My Dictionary (絵辞典) は、二次元コードを利用することで、「音の出る絵辞典」になります。

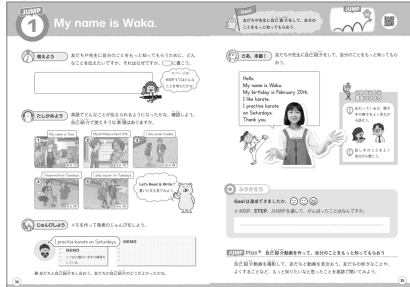


(別冊 My Dictionary (pp. 26-27) は「音の出る絵辞典」)

3 考える力を育てる

1 目的・場面・状況に応じて、思考力・判断力を働かせて気持ちや考えを表現する

年3回の JUMP では、児童の考えや気持ちを尊重した活動を設定しました。参照ページで思い出したり、考えを整理したりする活動により、それぞれの力に応じて主体的に取り組むことができます。発表前のやり取りでは、対話的な学びが起これるようにくふうしました。



(pp. 34-35 Unit のまとめの活動ページ [JUMP] の例)

2 「My Goal の設定」「ふりかえり」で、学習の到達度をチェック

HOP で設定した My Goal に向かって Lesson ごとにふりかえりながら学習を進めます。JUMP では自らの到達度をチェックすることができ、指導者には評価の参考となります。「5年生でこんなことができた！」と My Dictionary 「英語でできること」で目指す姿を確認することができます。



(pp. 10-11 扉で Unit 全体を見渡して目指す姿を確認、Goal を設定します)

4 他とかかわろうとする心を育てる

1 日本のことや世界のことを知る題材で、児童の世界を広げる

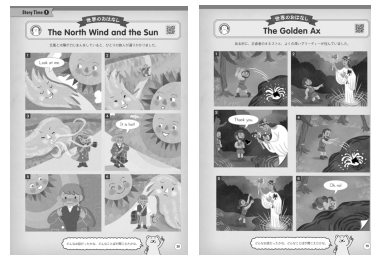
世界に発信できる日本の情報や、世界の珍しいスポーツなど、世界に目を向ける題材を通して、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせられるように、自国の文化や異文化の情報を扱いました。



(pp. 50-51, pp. 92-93 Hello, World! のページの例)

2 推測する力を養い、確かなコミュニケーション力を育成

わからない語句や表現があっても、場面や状況、わかる語句などをヒントに聞き続ける活動は推測する力を育み、実際のコミュニケーションの場面でいきる確かな力となります。



(p. 39, p. 79 Story Time 世界のおはなしのページの例)

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材	①取り扱う題材は、児童の知的欲求に合致するものを選択しました。(第1号)	HOP / Lesson (STEP) / JUMP
	②物語では、児童の感性に訴える作品を配置しました。(第1号)	Story Time 世界のおはなし (The North Wind and the Sun [北風と太陽] (p. 39) / The Golden Ax [金の斧] (p. 79) / The Mitten [てぶくる] (p. 109) / Story Time ケンの冒険 (p. 78, 108)
	③個人の能力や創造性を伸ばし、個性を發揮するなかで、それらを将来の生活や職業に結びつけることができるような題材を扱いました。(第2号)	Lesson (STEP) 全般 / Lesson 4 I can jump high. (pp. 52-61) / Lesson 5 She can bake cookies. (pp. 64-73) / JUMP 2 She is my hero. (pp. 74-75)
	④正義および自他の敬愛と協力など、社会への主体的な参画を扱いました。(第3号)	HOP / Lesson (STEP) / JUMP
	⑤自然科学、環境を扱いました。(第4号)	Lesson 6 It is in Fukui. (pp. 82-91) / Lesson 7 I want to go to Kenya. (pp. 94-101)
	⑥日本の伝統文化、および他国の文化を扱いました。(第5号)	世界のあいさつ (口絵) / Unit 1 扉 自己紹介をしよう (p. 10) / Hello, World! 世界のスポーツ (pp. 50-51) / Unit 3 扉 おすすめの場所を紹介しよう (p. 80) / Hello, World! 日本、大発見 (pp. 92-93) / Lesson 7 I want to go to Kenya. (pp. 94-101) / JUMP 3 You can swim in January. (pp. 104-105)
言語活動	①各課の言語活動においては、取り組む児童の個性・創造性・自主性が發揮されるように配慮しました。(第2号)	HOP / Lesson (STEP) / JUMP / 巻末カード / 別冊 My Dictionary
	②言語活動においては、職業および勤労、環境問題、社会貢献、伝統と文化の尊重、平和の問題などの題材を扱いました。(第2号、第4号、第5号)	Unit 2 扉 あこがれの人を紹介しよう (p. 40) / Lesson 5 She can bake cookies. (pp. 64-73) / JUMP 2 She is my hero. (pp. 74-75) / Hello, World! 日本、大発見 (pp. 92-93)
	③ペアやグループなどの形態を重視し、児童同士が協力して活動に取り組めるように配慮しました。(第3号)	Lesson (Let's Speak, Let's Play, Let's Talk, Let's Try) / JUMP / Try
付録	児童の自律的な学びを支える付録を配置しました。(第2号)	英語でこんなことができた! (pp. 110-111) / ローマ字表 (p. 112) / アルファベットカード (巻末) / 絵カード (巻末) / 5年生で学習した表現 (別冊 My Dictionary pp. 34-35) / 英語でできること【CAN-DO】(別冊 My Dictionary pp. 44-45)
登場人物	登場人物の配置及び活動については、男女・出身地域の偏りがないように配慮しました。(第3号、第5号)	全課にわたる登場人物およびその活動
構成	教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、児童にわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮しました。(第2号)	この教科書の使い方 (pp. 4-5) / HOP~STEP~JUMP の流れ / My Goal の設定 (HOP) / Goal の提示とふりかえり (Lesson) / Part ことのめあての提示 (Lesson) / Goal の提示と Unit 全体のふりかえり (JUMP) / 5年生で学習した表現 (別冊 My Dictionary pp. 34-35) / 英語でできること【CAN-DO】(別冊 My Dictionary pp. 44-45)

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1 すべての児童が学習しやすい紙面づくり

◎特別支援教育への配慮

- ・カラーユニバーサルデザインの見地より、識別しにくい配色は避け、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けました。色の濃淡や罫線などの工夫を凝らすことで、だれもが使いやすい教科書となるよう配慮しました。
- ・特別支援教育の見地より、補助的な手がかりを設けるなど、学習に困難な児童への配慮と対応をしました。

◎学習上の配慮

- ・基本的に見開き構成とし、その時間に学習する内容が一目でわかるようにしました。また、教材の配列をわかりやすくし、パターン化することで、英語の学習に集中できるように配慮しました。
- ・英語の文字の書き始めの手本となるよう、**専用の手書き文字フォント**を作成し、書く活動においては、すべて専用フォントを使用しました。また、4線の幅を十分に取るように配慮しました。
- ・児童の読みの負担を軽減するため、当該学年以降に配当されている漢字のすべてにふりがなをつけました。
- ・題材や挿絵に登場する人物などについて、性別による偏りがないように配慮しました。また、人種や身体的特徴などについても、**多様性**に意を用いました。
- ・巻末の活動用絵カードおよび自己紹介カードなどにはミシン目を入れ、だれでも負担なく切り取ることができるようにしました。

2 環境にやさしい教科書づくり

- ・用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、**環境にやさしい紙**を使用しています。
- ・インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の**植物油インキ**を使用しています。

3 今日的な課題への取り組み

◎評価

- ・目標 (**Goal**／英語でできること【**CAN-DO**】)を明示し、それに対応した「ふりかえり」を設け、評価の際に活用できるようにしました。

◎ICTの活用と英語の音声等の提供について

- ・映像を視聴する活動を全レッスンに設定しました。また、音声や映像、リンク集など、**学習を広げるウェブコンテンツ**を豊富に用意し、紙面に付した二次元コードから無償で利用できるようにしました。

◎カリキュラム・マネジメントの推進に向けて

- ・Lessonの各Partは1ページ45分、各活動は10～15分で構成し、週2単位時間でも**短時間学習**の組み合わせでも、学校の実態に合わせて学習の計画を立てやすい教材構成にしました。
- ・教科書、別冊 My Dictionary とともに二次元コードが豊富で、**オンライン授業**や**家庭学習**にも活用できます。

◎教科横断への取り組み

- ・社会科、国語科、理科、プログラミング教育など、**他教科との関連**を積極的に取り入れ、**教科横断的な視点**で学習の計画が図れるようにしました。

◎小学校中学年、中学校、高等学校との接続

- ・小学校中学年からの接続を円滑にするため、5年生の冒頭に設けた「**英語で言ってみよう**」では、3～4年生で学習した語句や表現を、短時間で簡潔に、かつ楽しく復習できるようにしました。
- ・別冊 My Dictionary に「**英語でできること【CAN-DO】**」を設け、5年生・6年生でどのようなことができるようになるかを示し、6年生への見通しがもてるようにしました。
- ・**自律的学習者の育成**に資するために、5年生の最後に「英語でこんなことができた!」を設け、自身の成長をふりかえるとともに、6年生への活動にいかせるようにしました。
- ・**2学年を通して使える別冊 My Dictionary**は、小学校での学びを確かめながら、中学校でも活用することができます。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

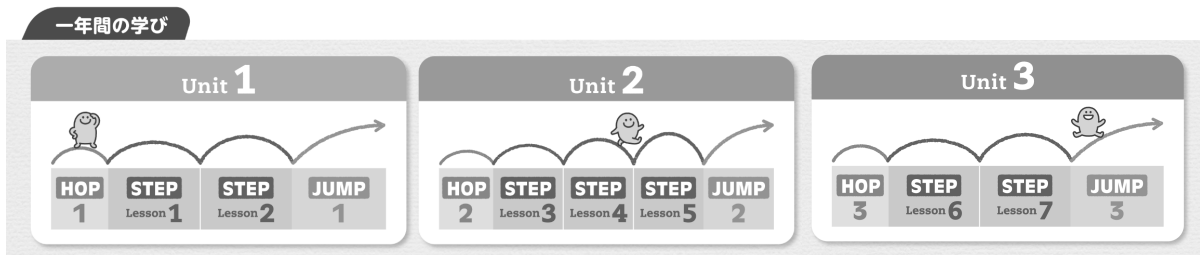
受理番号	学校	教科	種目	学年
104-175	小学校	外国語	英語	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英語 513 514	CROWN Jr. 5 CROWN Jr. My Dictionary		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 見通しをもって主体的に学ぶ力を育成するために

▶3つの大きな言語活動に向かって、自ら目標を立てて見通しをもちながら学んでいく

- 1年間に設定された3つの大きな言語活動に向かって、どのように学びを積み重ねていくかを可視化しました。各Lessonでは達成可能な小さなGoalを設定しました。それらをクリアしながら、自らが立てた目標に向かって見通しをもちながら学んでいくことができます。



▶Unit扉でめあてを確認、HOPで自分自身のMy Goalを決める



- ①Unit扉にはGoalを明確に示すとともに、Unitでの学習を象徴する写真を集め、一目でUnitの内容がわかるようにしました。
- ②Unitの流れを示しました。ここに戻れば、いつでもLesson(STEP)とJUMPのGoalを確認することができます。
- ③HOPでは、①既習表現のできる活動 ②JUMPでする発表のモデル動画を設定しました。モデル動画を見た児童が、JUMPでの自身の姿を思い描きながら自分自身のMy Goalを決め、そこに至るまでの学習の見通しをもてるようにしました。

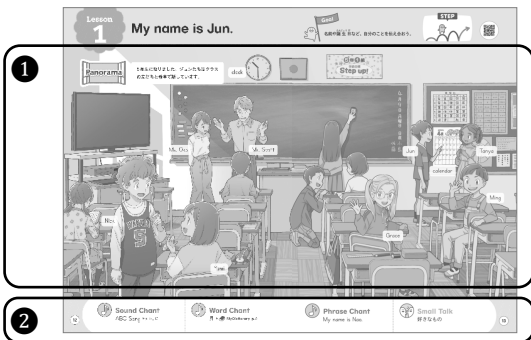
▶学習した語句や表現を使って、目的・場面・状況に応じて発表活動をするJUMP



- ◆2つ、または3つのLessonでの学習のあとに、Unitをしめくくる言語活動を設定し、思考・判断・表現と、主体的に学習に取り組む態度の評価場面としました。1ページ1単位時間です。
- ①HOPで立てたMy Goalを確認し、Lessonで学習した語句や表現からコミュニケーションの目的・場面・状況に応じて話す内容を考え、対話的・協働的な活動を通して内容を精査することができる活動にしました。学習した表現を復習する「たしかめよう」や、考えを整理する「じゅんぴしよう」など、児童がそれぞれの力に応じて主体的に学習に取り組むことができるようにしました。

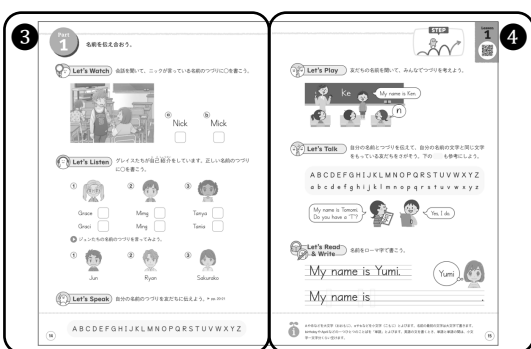
2 目的・場面・状況に応じたコミュニケーションを図る力を育成するために

▶Lesson は Panorama で語句や表現を導入



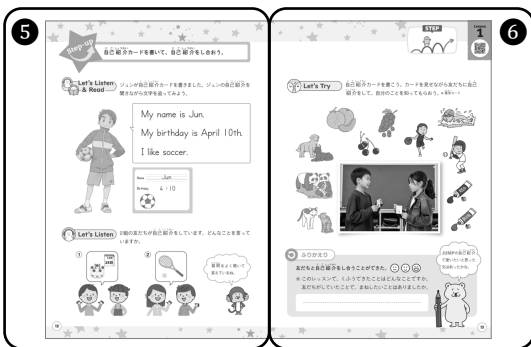
- Lesson は、語句や表現が使われる場面や状況を示した一枚絵の Panorama (パノラマ) で導入します。児童が自分自身を投影できるキャラクターが登場し、児童にとって身近な話題で、キャラクターとともに学んでいけるようにくふうしました。
- 語句や基本表現の学習に Word Chart と Phrase Chart を用意しました。Sound Chart では音と文字との関係についての気づきをうながします。Small Talk は既習表現と Lesson の話題を結びつけ、導入に適するようにしました。

▶Part ごとにめあてを提示して Goal を明確化



- ◆各 Part は見開き構成で、1 ページを 1 単位時間とし、知識・技能の指導場面として Part のめあてを明示しました。
- 左ページ(第 1 時)：アニメーションで導入(Let's Watch)。Let's Listen で音声中心に表現に慣れ親しみ、練習活動で口慣らしをします。最後にミニ Goal として小さなコミュニケーション活動を設定し、児童が達成感を得られるようにしました。
 - 右ページ(第 2 時)：表現を思い出すためのゲーム的な活動と、Part の Goal のコミュニケーション活動を設定しました。コミュニケーション活動で自分が言ったことを書く欄を設け、JUMP で活用できるようにしました。

▶Lesson 最後の Step-up では、各 Part で学習した内容で自己表現



- ◆Lesson の最後には各 Part で学習した内容を統合的に使う言語活動を設定しました。
- 左ページ：音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現で書かれた文を、音声も聞きながら読む活動 (Let's Listen & Read) を設定しました。Let's Listen では会話を聞くと同時に、右ページのまよめの活動 (Let's Try) ではどんなふうに活動をすればよいかかわかるようにしました。また、会話の継続の指導が段階的にできるよう、カリキュラムをくふうしました。
 - 右ページ：Let's Try は Lesson のまよめの言語活動です。やり取りを中心に、巻末カードを使った書く活動も盛り込みました。

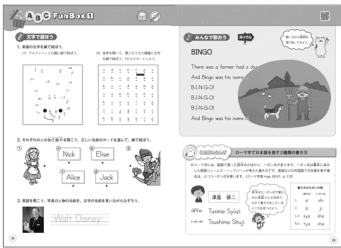
▷そのほかのくふう

- 5 領域を示すアイコン：どんな活動をするかが一目でわかる 5 領域を示すアイコンを付しました。
- メインキャラクターとナビゲーションキャラクター：児童が感情移入できるように、メインキャラクターを設定しました。また、ナビゲーションキャラクター (右図) が児童の理解をサポートします。
- 専用の手書き文字フォントを開発・採用：児童の手本となる手書き文字フォントを開発・採用しました。大文字・小文字とも、きれいに 4 線に乗るようにしました。
- 脚注にミニ情報を掲載。補足情報を提供し、学習の助けとしました。
- 特別支援教育への配慮：識別しにくい配色を避けて形や記号などの補助的な手がかりを設けるなど、すべての児童にとって使いやすい紙面づくりを目指しました。



3 児童の世界を広げ、人や文化など、他とかかわろうとする心を育てるために

▶「読むこと」「書くこと」はスモールステップで



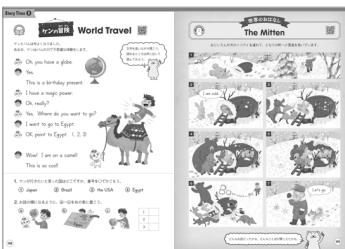
- ABC Fun Box 「文字で遊ぼう」では「読むこと」「書くこと」を少しずつ丁寧に積み重ねていきます。Lesson とも連動させ、Lesson で音声で十分に慣れ親しんだ語を扱いました。5年生では、大文字と小文字の名前を聞いてどの文字かを識別することから始めて、単語の始まりの音を表す文字を書くまでを扱います。
- 「みんなで歌おう」は、「文字で遊ぼう」での学習に関連した歌を選びました。
- ABC Fun Box のほかに、Lesson の Sound Chant では、音と文字との関係を、英語らしいリズムで楽しく歌いながら身につけていきます。

▶特有の場面でよく使われる表現は Try で集中的に



- 「一日の生活」や「プログラミング」など、特有の場面でよく使われる表現は、Try で扱いました。2～3時間の配当時間で集中的に学習します。

▶絵をたよりに、物語を読んだり聞いたりする Story Time



- 左ページには、話されるのを聞いたり絵を見たりしながら物語を読む活動を設定しました。それまでに音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、わくわくしながら楽しめるオリジナルストーリーを構成しました。
- 右ページは、児童が日本語で慣れ親しんだことのある世界の物語を、コマ漫画のようにして構成しました（「北風と太陽」「金の斧」「てぶくろ」）。絵を見ながら物語を聞き、ふきだしの英語も参考にしながら、話の内容を理解する活動です。

▶児童の世界を広げる Hello, World! は、教科も横断



- 「世界のスポーツ」や「日本、大発見」など、世界のことを知ったり、世界の人に日本を紹介したりするのに役立つ情報を集めました。二次元コードから関連リンクに飛ぶことで、さらなる情報に触れることができます。
- 「日本、大発見」は社会科との関連が図れる内容です。ほかにも、他教科で得た知識や情報を、英語でもいかせるようなくふうをしました。

▶自律的学習者を育てるためのくふう



- 「英語でこんなことができた！」や、別冊 My Dictionary 「英語のできること」では、児童が英語でできるようになることを確かめ、チェックすることができるようにしました。Lesson や JUMP の「ふりかえり」とあわせて、評価資料としても使うことができます。
- 教科書には別冊 My Dictionary へのリンクを多数掲載しました。言いたい語句をいつでも調べることができ、二次元コードを使えば音声を聞くこともできます。My Dictionary は絵辞典としての役割のほか、Word Chant の語句を確かめたり、ポインティングゲームやページ探しの活動をしたりすることができます。

4 そのほかの観点と内容の特色

教育基本法の遵守

- 全体の構成は、自ら学ぶ力をつけ、**自律的な学習者**を育成できるようにしました。[全体]
- 題材は、日本および他国の文化、動物や自然、将来の職業など、幅広く取り上げ、**伝統や文化の尊重、国際的な視野、命や自然を大切にすること、主体的に社会に参画する態度**などを育成できるようにしました。[全体]
- 伝統文化など**日本のよさ**を発見し、それらを発信する単元、**外国の文化を学び尊重する心**を育む題材を豊富に用意しました。[Unit 3 / Hello, World! など]

学習指導要領の遵守

- 思考力・判断力・表現力を働かせて**、個々の創造性を発揮できる**言語活動を充実させ、言語能力を確実に向上**させるとともに、**主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度**を育成します。[全体]
- 外国の生活や文化**をより深く理解する豊富な題材と、**他者や自分を大切にすること、コミュニケーション活動**を通して、相手意識を育みます。[全体]

道徳教育との関連

- 自分の得意なことを表現する活動などで**児童の自己肯定感**を高めます。また、**国際理解教育**に資する題材、単元を配置し、**国際社会の平和を希求する心**を育みます。[Lesson 4 / Unit 3 / Hello, World! など]
- 学習者と同学年の人種の異なるメインキャラクターの生活を話題としながら、**多様な価値観を受け入れ、いじめや差別のない社会への意識**や**人権意識**を高めます。[全体]

内容・系統（中学年、中高との関連）

- 5年生の冒頭で外国語活動で学習した内容を復習したり、各 Unit の冒頭で、言語活動を通してそれまでの学習で育んできた力を確認したりするなど、**中学年からの接続**が円滑にできます。[英語で言ってみよう / HOP など]
- 日本語と英語を比べて**音声の違いに気づかせる**活動や、**ミニ情報**を適宜配置し、中学校・高校の英語の学びにつなげます。[ABC Fun Box / 脚注 p. 59 など]

組織・配列・分量（スパイラル・学年間接続など）

- 2学年で6つの言語活動をゴールとした Unit を配置しています。各 Unit は各学期（3学期制）に対応し、**学期ごとの学習のまとめ**が図られるようにしています。[全体]
- 各 Unit は、Lesson や JUMP、ABC Fun Box などの小単元で構成し、段階を追って**スパイラル**に学べるよう、言語材料・言語活動を配置しています。[全体]

カリキュラムマネジメントへの配慮（複式学級への対応など）

- 各 Part は 45 分の授業が基本ですが、各 Lesson のチャンツや Small Talk、ABC Fun Box、Story Time などは、それぞれが**短時間の授業**に振り替えやすく、1 時間＋短時間授業にも充分に対応できるなど、**カリキュラムマネジメントに配慮**しています。[全体]
- 各 Lesson や JUMP はねらいが示され、構成が一定なので目標や**指導の流れ**がわかりやすく、教員の経験に関わらず**教えやすい構成**となっています。[全体]
- 活動ごとに 5 領域、評価の 3 観点の配置が明確であり、提出用のカードや、Lesson 末や Unit 末のふりかえりなどから、**評価がしやすい構成**になっています。[全体]
- 言語材料や活動内容を、2 学年を通してスパイラルに配置しており、**複式学級**での指導にも配慮しています。[全体]

基礎的・基本的な知識・技能別コミュニケーションの能力育成への配慮

- Unit、Lesson や Try など、1 時間の授業が、それぞれ**音声から文字へ、練習活動からコミュニケーション活動へとスムーズに流れる**ように活動を配列しています。[全体]
- 各 Lesson の練習活動では、知識及び技能の習得を中心としたものがスパイラルに指導でき、**基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得**できます。[STEP]
- 各 Lesson、JUMP の**コミュニケーション活動は、目的・場面・状況を意識**できるように設定し、**思考力・判断力・表現力の育成**を目指します。[STEP、JUMP]
- 音と文字**については、チャンツや ABC Fun Box などで基礎的な知識・技能を育み、各 Lesson の Step-up や JUMP などのまとめの言語活動のほか、Story Time などで、**思考力・判断力・表現力**を育成できます。[全体]

他教科との関連（ESD を含む）

- 社会科、理科などに関連する題材や、歌の活動を適宜配置して**他教科との関連**をもたせており、**CLIL の考え方に基づく学習**に発展させることができます。[Lesson 6 Lesson 7 / Hello, World! / ABC Fun Box など]
- プログラミング教育**との関連で指導できる活動も配置しています。[Try]

学習方法・授業展開への配慮（主体的・対話的で深い学びとの関連）

- 各 Lesson の Step-up や JUMP では、**主体的な学び**がおこなわれるように、児童それぞれの考えや気持ちを重視し、自分で選んだ英語で表現します。各活動は、既習事項を駆使して**思考力・判断力・表現力を働かせて、深い学び**につながる課題が設定され、ペアワークやグループワークをしながら**対話的に学び合**います。[Step-up / JUMP など]
- Unit や Lesson の終わりに学びをふりかえることで、主体的に学びに関わり、**学習の自己調整**の力を育てます。[Step-up / JUMP など]

多様な学習環境への対応（ICT、学習の習慣化、個別最適な学び、複式学級など）

- 練習活動、コミュニケーション活動、異文化理解の資料などに**音声や映像を使った教材**を用意しており、多様な指導をすることができます。[全体]
- 二次元コードを利用して児童が個別に音声や画像、映像などの情報にアクセスすることができ、**自学自習**や**感染症対策を含めた家庭学習**などの多様な学びにつなげることができます。[全体]
- 活動の際に**別冊の絵辞典**を適宜参考にすることで、**語彙や表現を広げ**ることができます。**自学自習**の際にも活用できます。[別冊 My Dictionary]



学びやすさ・特別支援への配慮

- 専門家の校閲による**カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面づくり**、**学習要素が位置**にあり、それぞれに**ねらいが明確な紙面構成**、**わかりやすい活動の内容・指示文**など、**特別支援**が必要な児童にも**学習上の支障がないように配慮**しています。[全体]
- 大判（A4判）で、イラストや写真を大きく扱って見やすくしています。また、**ユニバーサルデザインに配慮したフォント**を使用しています。[全体]

地域・社会・家庭との連携

- 日本や地域を紹介する Unit では**地域への愛着**の心を育むことができます。[Unit 3 など]
- 児童の作品を展示したり、それらを使って発表したりして、**地域交流**、**国際交流**の取り組みにつなげることができます。[JUMP]

造本の工夫（書き込み・評価への対応など）

- 環境にやさしい用紙とインキを使用しています。また、**書き込み欄**での記入をしやすくしています。[全体]
- 印刷は鮮明で、見やすく、製本は堅牢であり、長期間の使用に耐えられます。[全体]
- 巻末に配置したカード**は児童が活動で書き込むことができ、作品は**ポートフォリオ**、**評価の資料**となります。カードにはミシン目があり、切り取りやすくなっています。[巻末]

2. 対照表

(3) ①ア=聞くこと、イ=読むこと、ウ=話すこと [やり取り]、エ=話すこと [発表]、オ=書くこと

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所(頁)	配当時数
英語で言ってみよう	(1) ア・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (イ)、ウ (イ)、エ (ア)、②ア (ア)、イ (ア) (イ) (イ)	6-9	3
Unit 1 自己紹介をしよう		10	
HOP 1 Hello!	(1) ア・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ウ)、ウ (ア)、エ (イ)、②ア (イ)、イ (ア) (ウ)	11	1
Lesson 1 My name is Jun.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ア) (イ) (ウ)、イ (ア) (イ) (ウ)、ウ (イ) (ウ)、②ア (ア)、イ (ア) (ウ) (イ)	12-19	5
ABC Fun Box 1	(1) ア・イ (3) ①イ (ア) (イ)	22-23	1
Lesson 2 I play soccer on Tuesdays.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ア) (イ)、イ (ウ)、ウ (イ) (ウ)、エ (ア)、②ア (ア)、イ (ア) (イ) (ウ) (イ)	24-33	7
JUMP 1 My name is ...	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ウ)、エ (イ)、②ア (イ)、イ (ア) (ウ)	34-35	2
ABC Fun Box 2 / ABC Fun Box 1・2 まとめ	(1) ア・イ (3) ①イ (ア) (イ)、オ (ア)	36-38	2
Story Time 世界のおはなし (The North Wind and the Sun)	(1) ア・イ・ウ・エ (3) ①ア (ウ)、イ (イ)	39	1
Unit 2 あこがれの人を紹介しよう		40	
HOP 2 This is my hero.	(1) ア・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ウ)、ウ (ウ)、エ (イ)、②ア (ア) (イ)、イ (ウ) (イ)	41	1
Lesson 3 He is my brother.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア・イ (3) ①ア (ア) (イ)、イ (ウ)、ウ (イ)、オ (イ) (ウ)、②ア (ア)、イ (イ) (ウ)	42-49	5
Hello, World! 世界のスポーツ		50-51	
Lesson 4 I can jump high.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ア) (イ)、イ (ウ)、ウ (ウ)、オ (ウ)、②ア (ア)、イ (ア) (イ) (ウ) (イ)	52-61	7
ABC Fun Box 3	(1) ア・イ・ウ (3) ①ア (ア)、イ (イ)	62-63	1
Lesson 5 She can bake cookies.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ア) (イ)、イ (ウ)、ウ (イ)、オ (ウ)、②ア (ア)、イ (ア) (イ) (ウ) (イ)	64-73	7
JUMP 2 She is my hero.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ウ)、エ (ウ)、②ア (ア)、イ (ア) (イ) (ウ)	74-75	2
Try 一日の生活	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (イ) (ウ)、ウ (イ)、②ア (ア)、イ (ア) (ウ) (イ)	76-77	3
Story Time ケンの冒険 (Hello, Pam!)	(1) ア・イ・ウ・エ (2) イ (3) ①ア (ウ)、イ (イ)	78	1
Story Time 世界のおはなし (The Golden Ax)	(1) ア・イ・ウ・エ (3) ①ア (ウ)、イ (イ)	79	1
Unit 3 おすすめの場所を紹介しよう		80	
HOP 3 Let's go to ...	(1) ア・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ウ)、エ (ウ)	81	1
Lesson 6 It is in Fukui.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ア) (イ) (ウ)、イ (ウ)、ウ (イ)、エ (ウ)、オ (ウ)、②ア (ア)、イ (ア) (ウ) (イ)	82-91	7
Hello, World! 日本、大発見		92-93	
Lesson 7 I want to go to Kenya.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ア) (イ) (ウ)、イ (ウ)、ウ (イ) (ウ)、オ (ウ)、②ア (ア)、イ (ア) (イ) (ウ) (イ)	94-101	5
ABC Fun Box 4	(1) ア・イ・ウ (3) ①ア (イ)、オ (ア) (イ)	102-103	1
JUMP 3 You can swim in January.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (イ) (ウ)、エ (ウ)、②ア (ア) (イ)、イ (ア) (ウ) (イ)	104-105	2
Try プログラミング	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (イ)、ウ (イ)、②ア (イ)、イ (ウ) (イ)	106-107	2
Story Time ケンの冒険 (World Travel)	(1) ア・イ・ウ・エ (2) イ (3) ①ア (ウ)、イ (イ)	108	1
Story Time 世界のおはなし (The Mitten)	(1) ア・イ・ウ・エ (3) ①ア (ウ)、イ (イ)	109	1
(付録) ローマ字で自分の名前を書こう / 英語でこんなことができた! / ローマ字表 / アルファベットカード / 単語カード / Let's Try カード		20-21 110-112	-
		巻末	
		合計	70

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-175	小学校	外国語	英語	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英語 513 514	CROWN Jr. 5 CROWN Jr. My Dictionary		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や取扱いに示す事項	ページ数
23 歌詞 1行目	<ul style="list-style-type: none"> There was a farmer had a dog. 	2	2 内容〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文, 文構造及び文法事項 (イ) 文構造 b [主語+動詞+補語] のうち, 主語+be 動詞+ {名詞, 代名詞, 形容詞}	0.25
63 歌詞 5-7行目	<ul style="list-style-type: none"> Some like it hot, Some like it cold, Some like it in the pot, 	2	2 内容〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文, 文構造及び文法事項 (イ) 文構造 c [主語+動詞+目的語] のうち, 主語+ 動詞+ {名詞, 代名詞}	0.25
103 歌詞 2行目 4-8行目	<ul style="list-style-type: none"> Where the watermelons grow, I dare not go. For if I do, My mother will say, "Did you ever see a cat wearing a hat?" 	2	2 内容〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文, 文構造及び文法事項 (ア) 文 a 単文 (イ) 文構造 c [主語+動詞+目的語] のうち, 主語+ 動詞+ {名詞, 代名詞}	0.25
合計				0.75

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-175	小学校	外国語	英語	第6学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英語 613	CROWN Jr. 6		

●英語 514 CROWN Jr. My Dictionary は2年間使い続けます。初年度には6年生にも供給されます。

1. 編集の基本方針

楽しい学び 豊かな心 確かな力

本教科書は教育基本法の理念に基づき、英語教育を通して、確かな学力、国際社会に対応できる資質・能力と、豊かな人間性を育成することを教育理念とし、次の4つの基本方針に基づいて編修しました。



1 学びに向かう力を育てる

学ぶことを楽しむ心を育み、主体的・協働的に学ぶ力を育成します。なぜ英語を学ぶのか、どのように学ぶのかを紙面に示し、児童の学ぶ意欲を引き出します。自ら目標を立て、協働的な活動を通して学び合いながら Goal を目指します。

2 ことばを使う力を育てる

ことばに気持ちに乗せられる活動を通して、基礎的な英語力を育成します。たっぷりのインプットと、児童が「英語で言いたくなる活動」をスモールステップで積み重ねて、楽しく活動しながら英語力を身につけることができます。

3 考える力を育てる

目的や場面、状況に応じて考えながらコミュニケーションを図る力を育てます。児童に身近な場面を設定し、目的や状況を意識して、自分で話す内容や構成を考えることで、思考力と確かなコミュニケーション力を育成し、自律的な学習者を育てます。

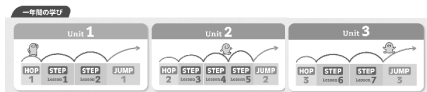
4 他とかかわろうとする心を育てる

児童の世界を広げる題材を通して、人や文化など、他とかかわろうとする心を育みます。これらの題材に触れ、広くことばや世界に関心を持ち、どんな言語であれ、相手がだれであれ、相手を意識しながらコミュニケーションしようとする心を育てます。

1 学びに向かう力を育てる

1 自ら立てた目標に向けて学習を積み重ね、スパイラルに学びを深めていく

- 本書は児童が楽しく英語を学んでいく中で、基礎的なコミュニケーション能力を養い、発達段階に応じた資質を身につけられることを目指しました。そのため1年間に3つの大きな言語活動の目標を設定しました。
- 児童が自ら立てた目標に向かって、グループ活動などを通して対話的・協働的に学び合いながら、Unitを重ねるごとに学びを深め、また学びをふりかえることで次の学びへと向かう態度を育み、自ら学力を育成できる「自律的な学習者」を育てる構成としました。



2 〈目標→見通し→ふりかえり〉のプロセスを大切に、主体的・協働的に学んでいく

- HOP**では、Unitの全体像を把握します。児童が「今の自分の力」を確認する活動をおこない、JUMPでどのようなことを言えるようになりたいか、自身の学びの見通しを立てます。
- STEP** (Lesson)では、場面を通して語句や表現に出会い、コミュニケーションを通してそれらを身につけます。Lesson全体のGoalに向かって、Partごとの小さなGoalを達成しながら力をつけていきます。
- JUMP**では、コミュニケーションの目的・場面・状況に応じて、それまでに学習した語句や表現から自分で話す内容を選び、思考力・判断力を働かせながら表現します。

Unitの構成

HOP で見通しを立てよう

STEP で語句や表現を学んで、コミュニケーションしよう

JUMP で発表しよう

思いえがく



- 今の自分の力できること、できないことを確かめよう。JUMPでどんなことを言いたいかわかると、目標を立てよう。

Sound Chant | Word Chant | Phrase Chant | Small Talk

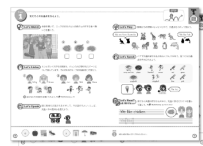
出会う



- 絵を見ながら音声聞いて、英語の単語や表現と出会う。
- 単語や語句のチャンツ、先生や友だちの短いしゃべりをしよう。

Panorama | Let's Watch | Let's Listen | Let's Speak | Let's Play | Let's Talk | Let's Speak | Let's Read & Write

慣れ親しむ



- 動画を見て話の内容をつかもう。
- 語句や表現に慣れ親しもう。
- 学習した表現で伝え合ったり、書いたりしよう。

Let's Watch | Let's Listen | Let's Speak | Let's Play | Let's Talk | Let's Speak | Let's Read & Write

(Part 3までのLessonもあります)

伝え合う



- 英語の文を読んだり、会話を聞いたりと、言えるようになったことを確認しよう。
- 目的・場面・状況を考えながら、伝え合ったり書いたりしよう。

Let's Listen & Read | Let's Listen | Let's Speak | Let's Read & Write | Let's Try

表現する



- これまでのLessonで学習したことを、目的・場面・状況を考えて表現しよう。

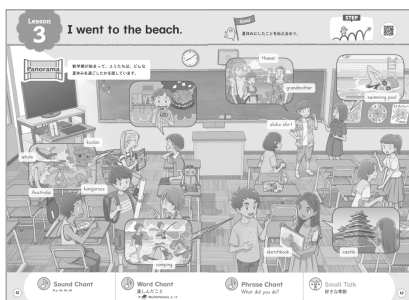
LessonやJUMPの終わりは、学習をふりかえろう。



2 ことばを使う力を育てる

1 児童にとって身近な日常生活の話題と、状況がわかりやすい場面設定

レッスンは一枚絵のパノラマで導入します。パノラマでは語句や表現が使われる場面や状況を示しました。児童にとって身近な場面を設定し、自分のこととしてとらえることで、児童の関心・意欲を高めます。



(pp. 42-43 レッソンの導入ページ [Panorama])

2 自分を投影できるメインキャラクターといっしょに、「やってみたい」と思える活動

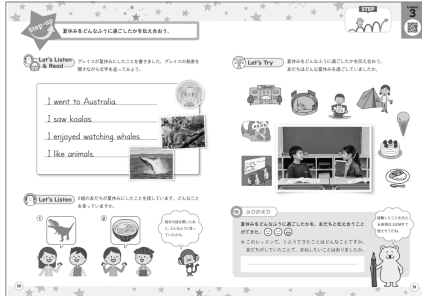
一般的な公立小学校を舞台に、外国人を含む児童や先生が登場します。自分自身を投影できるメインキャラクターが活動するのを見たり聞いたりして、児童が「自分もやってみたい」と思える活動を設定しました。



(pp. 44-45 活動は見開きで、1ページ1単位時間)

3 Goal と、Goal までに積み上げるステップが一目でわかる紙面

Unit 全体の Goal、レッスンの Goal、Part ごとの Goal をわかりやすく示しました。Unit の最後にどんなことができるようになるか、また、そこまでどんなステップを、どのように積み上げていくかが一目わかります。



(pp. 50-51 レッソンのまとめのページ [Step-up] では左上に Goal があります)

4 スモールステップで、無理なく文字に親しむ活動

「読むこと」と「書くこと」はスモールステップを踏んで、音と文字との関係に気づかせながら進めます。6年生では絵をたよりに単語を読んだり文を作ったりします。また、5年生に引き続き、My Dictionary (絵辞典) を利用できます。



(pp. 32-33 ABC Fun Box のページの例)

3 考える力を育てる

1 目的・場面・状況に応じて、思考力・判断力を働かせて気持ちや考えを表現する

年3回の JUMP では、児童の考えや気持ちを尊重した活動を設定しました。参照ページで思い出したり、考えを整理したりする活動により、それぞれの力に応じて主体的に取り組むことができます。発表前のやり取りでは、対話的な学びが起ころうやくいようにくふうしました。



(pp. 74-75 Unit のまとめの活動ページ [JUMP] の例)

2 「My Goal の設定」「ふりかえり」で、学習の到達度をチェック

HOP で設定した My Goal に向かって Lesson ごとにふりかえりながら学習を進めます。JUMP では自らの到達度をチェックすることができ、指導者には評価の参考となります。「6年生でこんなことができた！」と My Dictionary 「英語のできること」で目指す姿を確認することができます。



(pp. 40-41 扉で Unit 全体を見渡して目指す姿を確認、Goal を設定します)

4 他とかかわろうとする心を育てる

1 日本のことや世界のことを知る題材で、児童の世界を広げる

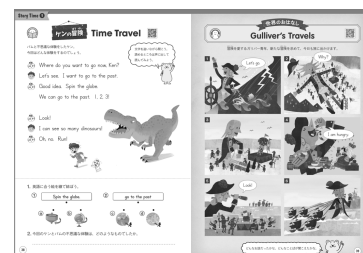
外国のまつり、小学校、いろいろな仕事など、世界に目を向ける題材を通して、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせられるように、異文化情報を扱いました。



(pp. 62-63, pp. 92-93 Hello, World! のページの例)

2 推測する力を養い、確かなコミュニケーション力を育成

わからない語句や表現があっても、場面や状況、わかる語句などをヒントに聞き続ける活動は推測する力を育み、実際のコミュニケーションの場面でいきる確かな力となります。



(pp. 38-39 Story Time ケンの冒険・世界のおはなしのページの例)

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材	①取り扱う題材は、児童の知的欲求に合致するものを選択しました。(第1号)	HOP / Lesson (STEP) / JUMP
	②物語では、児童の感性に訴える作品を配置しました。(第1号)	Story Time 世界のおはなし (Gulliver's Travels [ガリバー旅行記] (p. 39) / The Lion and the Mouse [ライオンとネズミ] (p. 79) / The Story of a White Horse [スーフと馬頭琴] (p. 107) / Story Time ケンの冒険 (p. 38, 78, 106)
	③個人の能力や創造性を伸ばし、個性を発揮するなかで、それらを将来の生活や職業に結びつけることができるような題材を扱いました。(第2号)	Lesson (STEP) 全般 / Unit 3 扉 将来の夢を伝えよう (p. 80) Lesson 6 I want to be a singer. (pp. 82-91) / Hello, World! 世界のいろいろな仕事 (pp. 92-93) / JUMP 3 This is my dream! (pp. 104-105)
	④正義および自他の敬愛と協力など、社会への主体的な参画を扱いました。(第3号)	HOP / Lesson (STEP) / JUMP
	⑤自然科学、環境を扱いました。(第4号)	Lesson 2 We have Children's Day in May. (pp. 22-31) / Lesson 4 It was green. (pp. 54-61)
	⑥日本の伝統文化、および他国の文化を扱いました。(第5号)	世界のまちかど (口絵) / Unit 1 扉 地域のことを伝えよう (p. 10) / Hello, World! 世界のまつり (pp. 20-21) / JUMP 1 We can enjoy skiing. (pp. 34-35) / Hello, World! 世界の小学校 (pp. 62-63) / Hello, World! 世界のいろいろな仕事 (pp. 92-93) / The Story of a White Horse [スーフと馬頭琴] (p. 107)
言語活動	①各課の言語活動においては、取り組む児童の個性・創造性・自主性が発揮されるように配慮しました。(第2号)	HOP / Lesson (STEP) / JUMP / 巻末カード / 別冊 My Dictionary
	②言語活動においては、職業および勤労、環境問題、社会貢献、伝統と文化の尊重、平和の問題などの題材を扱いました。(第2号、第4号、第5号)	Unit 3 扉 将来の夢を伝えよう (p. 80) Lesson 6 I want to be a singer. (pp. 82-91) / Hello, World! 世界のいろいろな仕事 (pp. 92-93) / JUMP 3 This is my dream! (pp. 104-105)
	③ペアやグループなどの形態を重視し、児童同士が協力して活動に取り組めるように配慮しました。(第3号)	Lesson (Let's Speak, Let's Play, Let's Talk, Let's Try) / JUMP / Try
付録	児童の自律的な学びを支える付録を配置しました。(第2号)	英語でこんなことができた! (pp. 110-111) / ローマ字表 (p. 112) / 絵カード (巻末) / 6年生で学習した表現 (別冊 My Dictionary pp. 36-37) / 英語でできること【CAN-DO】(別冊 My Dictionary pp. 44-45)
登場人物	登場人物の配置及び活動については、男女・出身地域の偏りがないように配慮しました。(第3号、第5号)	全課にわたる登場人物およびその活動
構成	教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、児童にわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮しました。(第2号)	この教科書の使い方 (pp. 4-5) / HOP~STEP~JUMP の流れ / My Goal の設定 (HOP) / Goal の提示とふりかえり (Lesson) / Part ごとくめあての提示 (Lesson) / Goal の提示と Unit 全体のふりかえり (JUMP) / 6年生で学習した表現 (別冊 My Dictionary pp. 36-37) / 英語でできること【CAN-DO】(別冊 My Dictionary pp. 44-45)

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1 すべての児童が学習しやすい紙面づくり

◎特別支援教育への配慮

- ・カラーユニバーサルデザインの見地より、識別しにくい配色は避け、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けました。色の濃淡や罫線などの工夫を凝らすことで、だれもが使いやすい教科書となるよう配慮しました。
- ・特別支援教育の見地より、補助的な手がかりを設けるなど、学習に困難な児童への配慮と対応をしました。

◎学習上の配慮

- ・基本的に見開き構成とし、その時間に学習する内容が一目でわかるようにしました。また、教材の配列をわかりやすくし、パターン化することで、英語の学習に集中できるように配慮しました。
- ・英語の文字の書き始めの手本となるよう、専用の手書き文字フォントを作成し、書く活動においては、すべて専用フォントを使用しました。また、4線の幅を十分に取るように配慮しました。
- ・児童の読みの負担を軽減するため、当該学年以降に配当されている漢字のすべてにふりがなをつけました。
- ・題材や挿絵に登場する人物などについて、性別による偏りがないように配慮しました。また、人種や身体的特徴などについても、多様性に意を用いました。
- ・巻末の活動用絵カードおよび地域紹介カードなどにはミシン目を入れ、だれでも負担なく切り取ることができるようにしました。

2 環境にやさしい教科書づくり

- ・用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用しています。
- ・インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。

3 今日的な課題への取り組み

◎評価

- ・目標（Goal／英語でできること【CAN-DO】）を明示し、それに対応した「ふりかえり」を設け、評価の際に活用できるようにしました。

◎ICTの活用と英語の音声等の提供について

- ・映像を視聴する活動を全レッスンに設定しました。また、音声や映像、リンク集など、学習を広げるウェブコンテンツを豊富に用意し、紙面に付した二次元コードから無償で利用できるようにしました。

◎カリキュラム・マネジメントの推進に向けて

- ・Lessonの各Partは1ページ45分、各活動は10～15分で構成し、週2単位時間でも短時間学習の組み合わせでも、学校の実態に合わせて学習の計画が立てやすい教材構成にしました。
- ・教科書、別冊 My Dictionary とともに二次元コードが豊富で、オンライン授業や家庭学習にも活用できます。

◎教科横断への取り組み

- ・社会科、国語科、理科など、他教科との関連を積極的に取り入れ、教科横断的な視点で学習の計画が図れるようにしました。

◎小学校中学年、中学校、高等学校との接続

- ・5年生からの接続を円滑にするため、6年生の冒頭に設けた「英語で言ってみよう」では、5年生で学習した語句や表現を、短時間で簡潔に、かつ楽しく復習できるようにしました。
- ・別冊 My Dictionary に「英語でできること【CAN-DO】」を設け、5年生・6年生でどのようなことができるようになるかを示し、中学校への見通しがもてるようにしました。
- ・自律的学習者の育成に資するために、6年生の最後に「英語でこんなことができた！」を設け、自身の成長をふりかえるとともに、中学校での活動にいかせるようにしました。
- ・2学年を通して使える別冊 My Dictionary は、小学校での学びを確かめながら、中学校でも活用することができます。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

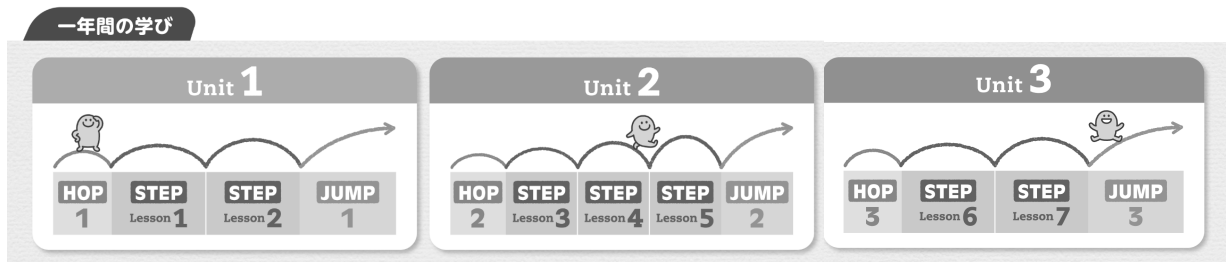
受理番号	学校	教科	種目	学年
104-175	小学校	外国語	英語	第6学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英語 613	CROWN Jr. 6		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 見通しをもって主体的に学ぶ力を育成するために

▶ 3つの大きな言語活動に向かって、自ら目標を立てて見通しをもちながら学んでいく

- 1年間に設定された3つの大きな言語活動に向かって、どのように学びを積み重ねていくかを可視化しました。各Lessonでは達成可能な小さなGoalを設定しました。それらをクリアしながら、自らが立てた目標に向かって見通しをもちながら学んでいくことができます。

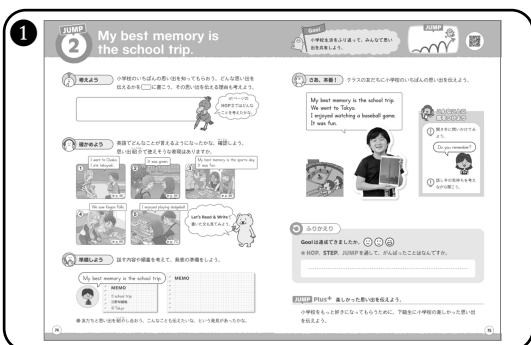


▶ Unit扉でめあてを確認、HOPで自分自身のMy Goalを決める



- ① Unit扉にはGoalを明確に示すとともに、Unitでの学習を象徴する写真を集め、一目でUnitの内容がわかるようにしました。
- ② Unitの流れを示しました。ここに戻れば、いつでもLesson(STEP)とJUMPのGoalを確認することができます。
- ③ HOPでは、①既習表現でできる活動 ②JUMPで発表のモデル動画を設定しました。モデル動画を見た児童が、JUMPでの自身の姿を思い描きながら自分自身のMy Goalを決め、そこに至るまでの学習の見通しをもてるようにしました。

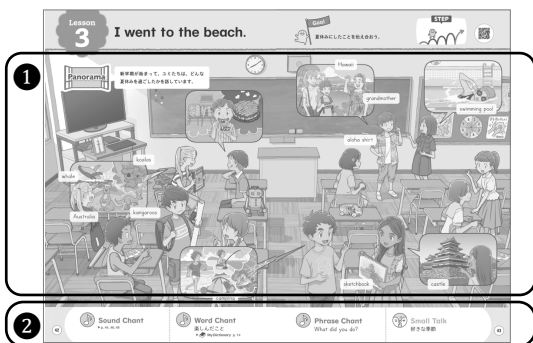
▶ 学習した語句や表現を使って、目的・場面・状況に応じて発表活動をするJUMP



- ◆ 2つ、または3つのLessonでの学習のあとに、Unitをしめくく言語活動を設定し、思考・判断・表現と、主体的に学習に取り組む態度の評価場面としました。1ページ1単位時間です。
- ① HOPで立てたMy Goalを確認し、Lessonで学習した語句や表現からコミュニケーションの目的・場面・状況に応じて話す内容を考え、対話的・協働的な活動を通して内容を精査することができるようになりました。学習した表現を復習する「確かめよう」や、考えを整理する「準備しよう」など、児童がそれぞれの力に応じて主体的に学習に取り組むことができるようにしました。

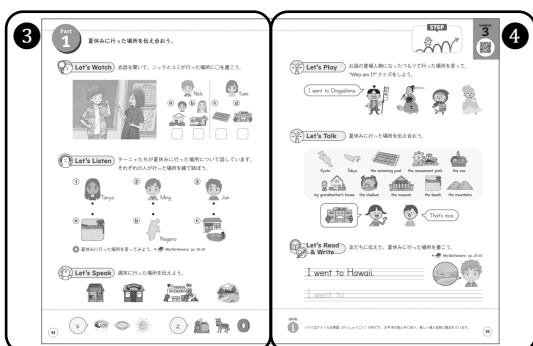
2 目的・場面・状況に応じたコミュニケーションを図る力を育成するために

▶Lesson は Panorama で語句や表現を導入



- Lesson は、語句や表現が使われる場面や状況を示した一枚絵の Panorama (パノラマ) で導入します。児童が自分自身を投影できるキャラクターが登場し、児童にとって身近な話題で、キャラクターとともに学んでいけるようにくふうしました。
- 語句や基本表現の学習に Word Chant と Phrase Chant を用意しました。Sound Chant では音と文字との関係についての気づきをうながします。Small Talk は既習表現と Lesson の話題を結びつけ、導入に適するようにしました。

▶Part ごとにめあてを提示して Goal を明確化



- ◆各 Part は見開き構成で、1 ページを 1 単位時間とし、知識・技能の指導場面として Part のめあてを明示しました。
- ③左ページ(第 1 時)：アニメーションで導入(Let's Watch)。Let's Listen で音声中心に表現に慣れ親しみ、練習活動で口慣らしをします。最後にミニ Goal として小さなコミュニケーション活動を設定し、児童が達成感を得られるようにしました。
- ④右ページ(第 2 時)：表現を思い出すためのゲーム的な活動と、Part の Goal のコミュニケーション活動を設定しました。コミュニケーション活動で自分が言ったことを書く欄を設け、JUMP で活用できるようにしました。

▶Lesson 最後の Step-up では、各 Part で学習した内容で自己表現



- ◆Lesson の最後には各 Part で学習した内容を統合的に使う言語活動を設定しました。
- ⑤左ページ：音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現で書かれた文を、音声も聞きながら読む活動(Let's Listen & Read)を設定しました。Let's Listen では会話を聞くと同時に、右ページのまよめ活動(Let's Try)ではどんなふうに活動をすればよいかかわかるようにしました。また、会話の継続の指導が段階的にできるよう、カリキュラムをくふうしました。
- ⑥右ページ：Let's Try は Lesson のまよめの言語活動です。やり取りを中心に、巻末カードを使った書く活動も盛り込みました。

▷そのほかのくふう

- 5 領域を示すアイコン：どんな活動をするかが一目でわかる 5 領域を示すアイコンを付しました。
- メインキャラクターとナビゲーションキャラクター：児童が感情移入できるように、メインキャラクターを設定しました。また、ナビゲーションキャラクター(右図)が児童の理解をサポートします。
- 専用の手書き文字フォントを開発・採用：児童の手本となる手書き文字フォントを開発・採用しました。大文字・小文字とも、きれいに 4 線に乗るようにしました。
- 脚注にミニ情報を掲載。補足情報を提供し、学習の助けとしました。
- 特別支援教育への配慮：識別しにくい配色を避けて形や記号などの補助的な手がかりを設けるなど、すべての児童にとって使いやすい紙面づくりを目指しました。

3 児童の世界を広げ、人や文化など、他とかかわろうとする心を育てるために

▶「読むこと」「書くこと」はスモールステップで



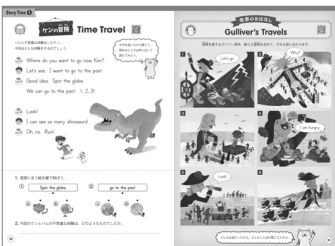
- 6年生のABC Fun Box「文字で遊ぼう」では、5年生での学習内容を下支えにして、絵をたよりに単語を読んだり、単語を並べて文を作ったりします。Lessonとも連動させ、Lessonの活動において音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を扱いました。
- 「みんなで歌おう」は、「文字で遊ぼう」での学習に関連した歌を選びました。
- ABC Fun Boxのほかに、LessonのSound Chantでは、似た音をペアにして、音の違いを、英語らしいリズムで楽しく歌いながら身につけていきます。

▶特有の場面でよく使われる表現はTryで集中的に



- 「道案内」や「買い物」など、特有の場面でよく使われる表現は、Tryで扱いました。2～3時間の配当時間で集中的に学習します。
- 6年生最後のTryは、2学年の復習を兼ねて、This is me!を設定しました。巻末カードを使って自分のことを書いたり、やり取りをしたりします。

▶絵をたよりに、物語を読んだり聞いたりするStory Time



- 左ページには、話されるのを聞いたり絵を見たりしながら物語を読む活動を設定しました。それまでに音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、わくわくしながら楽しめるオリジナルストーリーを構成しました。
- 右ページは、児童が日本語で慣れ親しんだことのある世界の物語を、コマ漫画のようにして構成しました（「ガリバー旅行記」「ライオンとネズミ」「スーフと馬頭琴」）。絵を見ながら物語を聞き、ふきだしの英語も参考にしながら、話の内容を理解する活動です。

▶児童の世界を広げるHello, World! は、教科も横断



- 「世界のまつり」「世界の小学校」「世界のいろいろな仕事」といった、世界のことを知るのに役立つ情報を集めました。二次元コードから関連リンクに飛ぶことで、さらなる情報に触れることができます。
- 「世界のまつり」「世界の小学校」は社会科との関連が図れる内容です。「世界のいろいろな仕事」はキャリア教育に発展させることができます。ほかにも、他教科で得た知識や情報を、英語でもいかせるようなくふうをしました。

▶自律的学習者を育てるためのくふう



- 「英語でこんなことができた！」や、別冊 My Dictionary「英語でできること」では、児童が英語でできるようになることを確かめ、チェックすることができるようにしました。LessonやJUMPの「ふりかえり」とあわせて、評価資料としても使うことができます。
- 教科書には別冊 My Dictionaryへのリンクを多数掲載しました。言いたい語句をいつでも調べることができ、二次元コードを使えば音声を聞くこともできます。My Dictionaryは絵辞典としての役割のほか、Word Chantの語句を確かめたり、ポインティングゲームやページ探しの活動をしたりすることができます。

4 そのほかの観点と内容の特色

教育基本法の遵守

- 全体の構成は、自ら学ぶ力をつけ、**自律的な学習者**を育成できるようにしました。[全体]
- 題材は、日本および他国の文化、自然、将来の職業など、幅広く取り上げ、**伝統や文化の尊重、国際的な視野、命や自然を大切にできる心、主体的に社会に参画する態度**などを育成できるようにしました。[全体]
- 伝統文化など**日本のよさ**を発見し、それらを発信する単元、**外国の文化を学び尊重する心**を育む題材を豊富に用意しました。[Unit 1 / Hello, World! など]

学習指導要領の遵守

- 思考力・判断力・表現力を働かせて**、個々の創造性を発揮できる**言語活動を充実させ、言語能力を確実に向上させるとともに、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度**を育成します。[全体]
- 外国の生活や文化**をより深く理解する豊富な題材と、**他者や自分を大切にできるコミュニケーション活動**を通して、相手意識を育みます。[全体]

道徳教育との関連

- 自分のできることを表現する活動などで**児童の自己肯定感**を高めます。また、**国際理解教育**に資する題材、単元を配置し、**国際社会の平和を希求する心**を育みます。[Unit 1 / Hello, World! / Try (This is me!) など]
- 学習者と同学年の人種の異なるメインキャラクターの生活を話題としながら、**多様な価値観を受け入れ、いじめや差別のない社会への意識**や**人権意識**を高めます。[全体]

内容・系統（中学年、中高との関連）

- 6年生の冒頭で、外国語活動から5年生までに学習した内容を復習したり、各Unitの冒頭で、言語活動を通してそれまでの学習で育んできた力を確認したりするなど、**中学年からの接続**が円滑にできます。[英語で言ってみよう / HOP など]
- 中学校生活を展望するLessonを配置、中学校への接続を円滑にしています。[Lesson 7]
- 日本語と英語を比べて、**音声の違いに気づかせる活動**や**ミニ情報**を適宜配置し、中学校・高校の英語の学びにつなげます。[ABC Fun Box / 脚注 p. 71 など]

組織・配列・分量（スパイラル・学年間接続など）

- 2学年で6つの言語活動をゴールとしたUnitを配置しています。各Unitは各学期（3学期制）に対応し、**学期ごとの学習のまとめ**が図られるようにしています。[全体]
- 各Unitは、LessonやJUMP、ABC Fun Boxなどの小単元で構成し、段階を追って**スパイラル**に学べるよう、言語材料・言語活動を配置しています。[全体]

カリキュラムマネジメントへの配慮（複式学級への対応など）

- 各Partは45分の授業が基本ですが、各LessonのチャンツやSmall Talk、ABC Fun Box、Story Timeなどは、それぞれが**短時間の授業**に振り替えやすく、1時間+短時間授業にも充分に対応できるなど、**カリキュラムマネジメントに配慮**しています。[全体]
- 各LessonやJUMPはねらいが示され、構成が一定なので目標や**指導の流れ**がわかりやすく、教員の経験に関わらず**教えやすい構成**となっています。[全体]
- 活動ごとに5領域、評価の3観点の配置が明確であり、提出用のカードや、Lesson末やUnit末のふりかえりなどから、**評価がしやすい構成**になっています。[全体]
- 言語材料や活動内容を、2学年を通してスパイラルに配置しており、**複式学級**での指導にも配慮しています。[全体]

基礎的・基本的な知識、技能別コミュニケーションの能力育成への配慮

- Unit、LessonやTryなど、1時間の授業が、それぞれ**音声から文字へ、練習活動からコミュニケーション活動へとスムーズに流れる**ように活動を配列しています。[全体]
- 各Lessonの練習活動では、知識及び技能の習得を中心としたものがスパイラルに指導でき、**基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得**できます。[STEP]
- 各Lesson、JUMPの**コミュニケーション活動は、目的・場面・状況を意識**できるように設定し、**思考力・判断力・表現力の育成**を目指します。[STEP / JUMP]
- 音と文字**については、チャンツやABC Fun Boxなどで基礎的な知識・技能を育み、各LessonのStep-upやJUMPなどのまとめの言語活動のほか、Story Timeなどで、**思考力・判断力・表現力**を育成できます。[全体]

他教科との関連（ESDを含む）

- 社会科、理科、算数科などに関連する題材や、歌の活動など、**他教科との関連**をもたせており、**CLILの考え方に基づく学習**に発展させることができます。[Lesson 4 / Lesson 7 / Hello, World! / ABC Fun Box など]

学習方法・授業展開への配慮（主体的・対話的で深い学びとの関連）

多様な学習環境への対応（ICT、学習の習慣化、個別最適な学び、複式学級など）

学びやすさ・特別支援への配慮

地域・社会・家庭との連携

造本の工夫（書き込み・評価への対応など）

- 各 Lesson の Step-up や JUMP では、**主体的な学び**がおこなわれるように、児童それぞれの考えや気持ちを重視し、自分で選んだ英語で表現します。各活動は、既習事項を駆使して**思考力・判断力・表現力を働かせて、深い学び**につながる課題が設定され、ペアワークやグループワークをしながら**対話的に学び合**います。[Step-up / JUMP など]
- Unit や Lesson の終わりに学びをふりかえることで、主体的に学びに関わり、**学習の自己調整**の力を育てます。[Step-up / JUMP など]
- 練習活動、コミュニケーション活動、異文化理解の資料などに**音声や映像を使った教材**を用意しており、多様な指導をすることができます。[全体]
- 二次元コードを利用して児童が個別に音声や画像、映像などの情報にアクセスすることができ、**自学自習**や**感染症対策を含めた家庭学習**などの多様な学びにつなげることができます。[全体]
- 第5学年の**別冊絵辞典**を引き続き利用し、活動の際に適宜参考にすることで、**語彙や表現を広げ**ることができます。**自学自習**の際にも活用できます。[別冊 My Dictionary]
- 専門家の校閲による**カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面づくり**、**学習要素が定位**にあり、それぞれに**ねらいが明確な紙面構成**、**わかりやすい活動の内容・指示文**など、**特別支援**が必要な児童にも**学習上の支障がないように配慮**しています。[全体]
- 大判（A4判）で、イラストや写真を大きく扱って見やすくしています。また、**ユニバーサルデザインに配慮したフォント**を使用しています。[全体]
- 日本や地域を紹介する Unit では**地域への愛着**の心を育むことができます。[Unit 1 など]
- 児童の作品を展示したり、それらを使って発表したりして、**地域交流、国際交流**の取り組みにつなげることができます。[JUMP]
- 環境にやさしい用紙とインキを使用しています。また、**書き込み欄**での記入をしやすくしています。[全体]
- 印刷は鮮明で、見やすく、製本は堅牢であり、長期間の使用に耐えられます。[全体]
- 巻末に配置したカード**は児童が活動で書き込むことができ、作品は**ポートフォリオ、評価の資料**となります。カードにはミシン目があり、切り取りやすくなっています。[巻末]



2. 対照表

(3) ①ア=聞くこと、イ=読むこと、ウ=話すこと【やり取り】、エ=話すこと【発表】、オ=書くこと

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所(頁)	配当時間
英語で言ってみよう	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア (3) ①ウ (イ) (ウ)、エ (イ) (ウ)、②ア (ア) (イ)、イ (ア) (ウ) (イ) (ウ)	6-9	2
Unit 1 地域のことを伝えよう		10	-
HOP 1 This is our town.	(1) ア・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ウ)、エ (ウ)、②ア (ア)、イ (ア) (ウ)	11	1
Lesson 1 We are from India.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア・イ (3) ①ア (ア) (ウ)、イ (イ)、ウ (イ) (ウ)、エ (イ) (ウ)、オ (イ) (ウ) ②ア (ア)、イ (ア) (ウ) (イ) (ウ)	12-19	5
Hello, World! 世界のまつり		20-21	-
Lesson 2 We have Children's Day in May.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア・イ (3) ①ア (ア) (ウ)、イ (イ)、ウ (イ) (ウ)、エ (イ)、オ (イ) (ウ) ②ア (ア)、イ (ア) (ウ) (イ) (ウ)	22-31	7
ABC Fun Box 1	(1) ア・イ・ウ (3) ①イ (ア) (イ) (ウ)、オ (ア)	32-33	1
JUMP 1 We can enjoy skiing.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ウ)、エ (ウ)、②ア (ア)、イ (ア) (ウ) (イ)	34-35	2
Try 道案内	(1) ア・イ・ウ・エ (3) ①ア (イ) (ウ)、ウ (ア)、②ア (イ)、イ (ア) (イ) (ウ) (オ)	36-37	2
Story Time ケンの冒険 (Time Travel)	(1) ア・イ・ウ・エ (2) イ (3) ①ア (ウ)、イ (イ)	38	1
Story Time 世界のおはなし (Gulliver's Travels)	(1) ア・イ・ウ・エ (3) ①ア (ウ)、イ (イ)	39	1
Unit 2 思い出を伝えよう		40	-
HOP 2 My Memories	(1) ア・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ウ)、エ (ウ)、②ア (ア)、イ (ア) (ウ)	41	1
Lesson 3 I went to the beach.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア・イ (3) ①ア (ウ) (イ)、イ (イ)、ウ (イ)、オ (イ)、②ア (ア)、イ (ア) (ウ) (イ)	42-51	7
ABC Fun Box 2	(1) ア・イ・ウ・エ (3) ①イ (ア) (イ)	52-53	1
Lesson 4 It was green.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア・イ (3) ①ア (ア) (ウ)、イ (イ)、ウ (イ)、オ (イ) (ウ) ②ア (ア)、イ (ア) (イ) (ウ) (オ)	54-61	5
Hello, World! 世界の小学校		62-63	-
Lesson 5 We had the sports day in October.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア・イ (3) ①ア (ア) (ウ)、イ (イ)、ウ (イ)、オ (イ) (ウ) ②ア (ア)、イ (ア) (イ) (ウ) (オ)	64-73	7
JUMP 2 My best memory is	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ウ)、エ (ウ)、②ア (ア)、イ (ア) (ウ) (イ)	74-75	2
Try 買い物	(1) ア・イ・ウ・エ (3) ①ア (イ) (ウ)、ウ (ア)、②ア (イ)、イ (ア) (イ) (ウ) (オ)	76-77	3
Story Time ケンの冒険 (Space Travel)	(1) ア・イ・ウ・エ (2) イ (3) ①ア (ウ)、イ (イ)	78	1
Story Time 世界のおはなし (The Lion and the Mouse)	(1) ア・イ・ウ・エ (3) ①ア (ウ)、イ (イ)	79	1
Unit 3 将来の夢を伝えよう		80	-
HOP 3 My Dream	(1) ア・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ウ)、エ (イ)	81	1
Lesson 6 I want to be a singer.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア・イ (3) ①ア (ア) (ウ)、イ (イ)、ウ (イ)、オ (イ)、②ア (ア)、イ (ア) (ウ) (イ) (ウ)	82-91	7
Hello, World! 世界のいろいろな仕事		92-93	-
Lesson 7 I want to join the brass band.	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア・イ (3) ①ア (ア) (ウ)、イ (イ)、ウ (イ)、オ (イ)、②ア (ア)、イ (ア) (ウ) (イ)	94-101	5
ABC Fun Box 3	(1) ア・イ・ウ・エ (3) ①オ (イ) (ウ)	102-103	1
JUMP 3 This is my dream!	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア (3) ①ア (ウ)、エ (ウ)、②ア (ア)、イ (ア) (ウ) (イ)	104-105	2
Story Time ケンの冒険 (See You Again.)	(1) ア・イ・ウ・エ (2) イ (3) ①ア (ウ)、イ (イ)	106	1
Story Time 世界のおはなし (The Story of a White Horse)	(1) ア・イ・ウ・エ (3) ①ア (ウ)、イ (イ)	107	1
Try This is me!	(1) ア・イ・ウ・エ (2) ア・イ (3) ①ア (ウ)、イ (イ)、エ (イ)、オ (イ)、②ア (イ)、イ (ア) (イ) (ウ)	108-109	2
(付録) 英語でこんなことができた! /ローマ字表/Let's Try カード/単語カード		110-112	-
		巻末	
		合計	70

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-175	小学校	外国語	英語	第6学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英語 613	CROWN Jr. 6		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や取扱いに示す事項	ページ数
33 歌詞 4行目	<ul style="list-style-type: none"> • Its fleece was white as snow. 	2	2 内容〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ウ 語, 連語及び慣用表現 (イ) 連語のうち, 活用頻度の高い基本的なもの	0.25
53 歌詞 3-7行目	<ul style="list-style-type: none"> • Buy me some peanuts and Cracker Jack. • I don't care if I never get back. • Let me root, root, root for the home team. • If they don't win, it's a shame. • For it's one, two, three strikes, you're out, 	2	2 内容〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文, 文構造及び文法事項 (ア) 文 a 単文 (イ) 文構造 c [主語+動詞+目的語]のうち, (a)主語+動詞+ {名詞, 代名詞}	0.25
103 歌詞 6行目	<ul style="list-style-type: none"> • When all the nights are low. 	2	2 内容〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文, 文構造及び文法事項 (ア) 文 a 単文	0.25
合計				0.75